


みえ介護フェア2020

第5回介護技術コンテスト結果発表

今回、新型コロナウイルス感染症対策等大変な時期にも関わらず、そして例年通りの対面での技術コンテストが困難な状況であるため、動画を活用し、新たな介護の魅力発信することを目的といたしました。17施設・学校が参加をして頂き、動画はなんと30本！！素晴らしい「みえのふくし」の力を感ずることができました。学校からの参加も多くありましたので、当初予定していたコンテスト内容を変更し、「施設部門」「学校部門」でのコンテストに変更させて頂きました。参加施設・学校のみなさまには情報周知等、多々困惑させてしまうことがあったことをお詫び申し上げます。ただ、みなさまのおかげで無事にコンテストが終了しましたこと、誠に感謝申し上げます。

みえ介護技術コンテスト実行委員会一同

施設部門

 第1位 堀 友星さん

(介護老人保健施設 みやがわ)



評価ポイント（一例抜粋）

介護者の堀さんが、利用者の方としっかりとアイコンタクトができていて、利用者の方の話や、うなずきを待っている姿勢があり、利用者との信頼関係があるように見えました。

第2位 松本 知也さん

(特別養護老人ホームきずな)


し



評価ポイント（一例抜粋）

介護の基本的で模範的な技術ができていると思います。利用者に対して、尊厳を持つ姿勢があると思えました。

学校部門

 第1位 原 優花さん

(三重県立朝明高等学校)



評価ポイント（一例抜粋）

介護者の方が、利用者に対して真摯に声かけしてできるところは、やっていただいていた。テレビのことなど、利用者の方の希望をしっかりと聞いていたところも良かったと思います。

第2位 蓮池 暖野さん

(三重介護福祉専門学校)



評価ポイント（一例抜粋）

はっきりとした声で言葉がけを行っている。また、いつもの行為であっても、利用者様に自己選択・自己決定をしてもらえるような言葉がけを行なっているため。

審査委員会にて評価いたしました。どの動画も素晴らしく、悩みに悩み・・・嬉しい悩みでしたが、上記の結果となりました。

12月25日に当会ホームページでもコンテストの結果を発表したいと思います。

副賞につきましてもぜひ、お楽しみに！！

本当にみなさまの熱意、技術に感動いたしました。